町民の井戸端会議が商店街に甦る：街角サロン

萩　原　町　商　工　会

機関名	萩原町商工会		
所在地	岐阜県萩原町１１６６－２４		
電話番号	０５７６－５２－２５００		
地域概要	(1)管内人口　１万２　千人	(2)管内商店街数　６　商店街	
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数　５　商店街	(2)会員数　８３　商店	
	(3)空店舗率　１３．５　%	(4)大型店空き店舗　０　店	
商店街の類型	1.超広域型商店街　2.広域型商店街　3.地域型商店街　4.近隣型商店街		

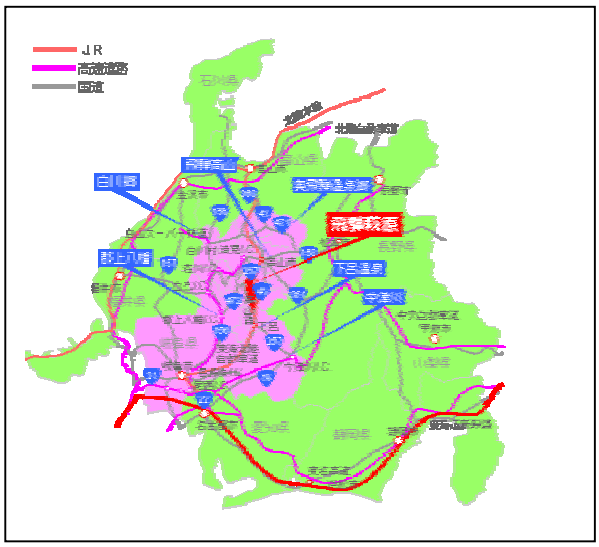
【事業名と実施年度】

平成１３年度　空き店舗対策事業　サロン
総事業費　７，５６３千円

【事業実施内容】

１．背景

近隣大型店の競合の激化、消費者のレジャー志向による休日等を利用した都市部への流出など、地域商店街の経営環境が一層厳しくなる中、新しい商店街のあり方として、当町が置かれている社会的状況を考え、商店街を消費者のコミュニケーションの場として、また、情報発信の場として、空き店舗を利用した街角サロンを設け、商店街への付加的集客機能を高め、商店街を活性化することを目的とした。



萩原町の位置(上)　街角サロンの位置(下)

２．事業内容

◇事業内容「街角サロン」

在来商店街の良さである「井戸端会議」等、コミュニケーションが図れる場として、空き店舗を改装した「街角サロン」をオープン。次の３つの事業を展開し、商店街への付加的集客機能とした。

(1) コミュニケーション「街角サロン」：

バス・汽車の待ち時間での利用、病院の診察時間までの利用、免許を持たない方の家族の迎えを待つまでの利用、トイレの利用、買い物帰りの休憩所としての利用等々「待合室」的な利用から、さらにはこのサロンで出

会った方同士のコミュニケーションが図れる場を設置した。

(2) 街角ミュージアム：

日頃、紹介する場の少ない町民の方々の作品をはじめ、町内にある知的障害者施設「益田山ゆり園」の作品を展示し、「街角サロン」に話題性を持たせ集客を図った。

(3) 萩原なんでも市：

萩原町で製造されている特産品をはじめ、各事業所のオリジナル製品、健康製品を紹介。また、商店街の売出し等のチラシによる情報提供を実施。

コミュニケーションスペース

【　効　果　】

(1) コミュニケーション「街角サロン」

高齢者・女性が気軽に立ち寄れ話が出来る場として、10 月のオープン以来一年間で、約 4,300 名の多くの方々にご利用いただき、コミュニケーションが図れる場として、町民の方にも大変喜んでいただき、商店街への付加的集客機能の役割を十分果たしたと考えている。

（2）街角ミュージアム

この街角サロンに訪れた方々に大変喜ばれ、また、この街角ミュージアムを目的に訪れた方も多かった。さらに、この街角ミュージアムへ作品の出展を希望される方も大変多く、高齢者の生きがい対策ともなっていると感じている。

萩原なんでも市

出展作品例：　パッチワーク、ちぎり絵、紙細工、手づくり絵本、風景画、年賀状、トールペインティング、ひょうたん、益田山ゆり園生の紙すき作品、等

（3）萩原なんでも市

地元でありながら、なかなか知られていない商品・製品のＰＲと情報を提供することができ、大変好評であった。

【課題・反省点】

①この空き店舗を利用した「街角サロン」と商店街の一層の関連づけ。

②商業者の経営環境の悪化の認識不足。

③今後の運営方法と事業経費。

【 関　連　ＵＲＬ】

萩原町商工会　　http://www4.ocn.ne.jp/~s-hida.h/